2025年3月期(2024年度) 決算補足説明資料

2025年5月12日

大崎電気工業株式会社
(東証プライム 6644)

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

本資料の構成

1 事業の概要

2 2024年度　決算概要

1　2024年度決算ハイライト
2　2024年度通期業績（連結）
3　売上高・営業利益・営業利益率　推移
4　ポートフォリオ別売上高
5　営業利益増減分析
6　特別利益・特別損失の計上
7　貸借対照表・キャッシュフロー計算書

3 2025年度　業績見通し

1　2025年度　業績見通し
2　売上高・営業利益・営業利益率　推移（再掲）
3　ポートフォリオ別売上高
4　研究開発費・減価償却費・設備投資額
5　想定される外部環境変化とリスク／機会、主な対応策

4 株主還元

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

1 事業の概要

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

会社概要

（2025年3月末日現在）

商　　号	大崎電気工業株式会社 OSAKI ELECTRIC CO.,LTD.
創　　業	1916（大正5）年8月
設　　立	1937（昭和12）年1月
資 本 金	79億6575万円
代 表 者	取締役会長CEO　渡辺 佳英（わたなべ よしひで）
事業内容	電力量計、計器用変成器、配電自動化機器、デマンドコントロール装置、 エネルギーマネジメントシステム、自動検針システム、スマートホーム関連機器、光通信関連機器、 配・分電盤等の製造販売および工事 等
従業員数	2,558名（連結）、542名（単体）

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

事業の概要

**大崎電気工業は、創業以来100年以上にわたり、電力の計測・制御を通じて
エネルギーの有効活用に貢献してきた電機メーカーです。**

＜当社事業の特長＞

○ 主力製品である電力量計（スマートメーター）は、全国の電力会社（10社）向け製品のほか、電力会社以外にも産業用、商業用製品を幅広く納入しており、販売実績（シェア）は国内首位です。

○ 日本国内に限らず、オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）、ヨーロッパ（特に英国）、アジアを中心に海外でも多くの国・地域でスマートメーターを販売しています。（オーストラリア（東部5州）、ニュージーランドでは70%超の高いシェアを獲得）

○ 日本国内・海外を合わせた全世界シェアは約8%（第4位）です。

○ 企業の持続的な成長を図るため、スマートメーター以外の製品・サービスの開発・販売にも注力しています。
（主な製品・サービス）
- □ エネルギーマネジメントシステム（お客様の効率的な電力利用をサポート）
- □ スマートメーターリングシステム（電力・ガス・水道使用量の自動検針とクラウド管理で省力化に貢献）
- □ 配電盤・分電盤（電力会社やデータセンター向けに販売）
- □ スマートロック（建物のカギをスマート化。賃貸物件管理会社の管理コスト削減や「置き配」拡大にも貢献）

※ 3C（お客様・当社・競合他社）の視点で事業をとらえた資料を巻末（p27～p30）に掲載していますのでそちらもあわせてご覧ください。

＜事業セグメント＞

当社は、事業を3つのセグメントに分けて管理しています。本決算説明資料でも、3つのセグメント単位で決算情報を記載しています。
・国内計測制御事業　・海外計測制御事業　・不動産事業

（主な製品・サービス）

スマートメーター



国内



海外

エネルギーマネジメントシステム



配電盤・分電盤



スマートロック



Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

2 2024年度 決算概要

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

1　2024年度決算ハイライト

01

前年度比　増収減益（営業利益ベース）

海外はオセアニア向けが堅調であったことから増収増益だが、
国内は製品構成の変動により増収減益となったことから、連結では増収減益

02

国内計測制御事業　増収減益（前年度比）

【売上】スマートメーター事業は微減だが、ソリューション事業が増収
【利益】製品構成の変動や販売管理費の増加等により減益

03

海外計測制御事業　増収増益（前年度比）

【売上】オセアニア向けの需要好調により増収
【利益】オセアニアでの売上増や英国での為替の好転等により増益

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

2　2024年度通期業績(連結)①

前年度比　**増収減益**

【売上高】
- **国内**　スマートメーター事業が現行スマートメーターに対するゆるやかな需要減少もあり微減
  ソリューション事業は電力会社以外へのメーター販売が好調で増収となり全体で増収
- **海外**　海外はオセアニア向けの新規・更新需要増による出荷増等により増収

【営業利益】
- **国内**　国内は製品構成の変動や販売管理費の増加等により減益
- **海外**　海外はオセアニアでの売上増や英国での為替の好転(英ポンド高)による利益率の改善等により増益

(単位:百万円)

	2023年度実績		2024年度実績		前年度増減	
売上高(外部売上)	95,147		97,102		1,955	+2.1%
国内計測制御事業	55,266		56,084		818	+1.5%
海外計測制御事業	40,693		41,719		1,026	+2.5%
不動産事業	572		561		△10	△1.9%
調整額	△1,384		△1,263		121	―
営業利益 (率)	5,874	(6.2%)	5,701	(5.9%)	△173	△3.0%
国内計測制御事業	4,451		3,965		△486	△10.9%
海外計測制御事業	1,155		1,477		322	+28.0%
不動産事業	277		270		△7	△2.7%
調整額	△9		△12		△2	―
経常利益 (率)	5,488	(5.8%)	5,386	(5.5%)	△101	△1.9%
特別損益	△447		1,003		1,450	―
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	2,407	(2.5%)	3,504	(3.6%)	1,096	+45.6%

ROE

2023年度実績	2024年度実績
5.0%	▶ 6.9%

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

2　2024年度通期業績(連結)②

期初計画比　**増収増益**

OSAKI

【売上高】　国内　スマートメーター事業での需要変動に対する製販一体となった対応による受注獲得により増収

海外　オセアニア向けの追加受注の獲得や、為替が前提レートより円安になったことにより増収

【営業利益】　国内　スマートメーター事業の増収や販売管理費の縮減により増益

海外　中東・アフリカ地域において与信リスクを踏まえた選択受注を行ったことにより減益

（単位：百万円）

	2024年度期初計画		2024年度実績		期初計画増減	
売上高(外部売上)	90,000		97,102		7,102	+7.9%
国内計測制御事業	53,500		56,084		2,584	+4.8%
海外計測制御事業	37,000		41,719		4,719	+12.8%
不動産事業	600		561		△38	△6.4%
調整額	△1,100		△1,263		△163	―
営業利益（率）	4,700	(5.2%)	5,701	(5.9%)	1,001	+21.3%
国内計測制御事業	2,600		3,965		1,365	+52.5%
海外計測制御事業	1,800		1,477		△322	△17.9%
不動産事業	300		270		△29	△10.0%
調整額	―		△12		△12	―
経常利益（率）	3,900	(4.3%)	5,386	(5.5%)	1,486	+38.1%
親会社株主に帰属する当期純利益（率）	2,000	(2.2%)	3,504	(3.6%)	1,504	+75.2%

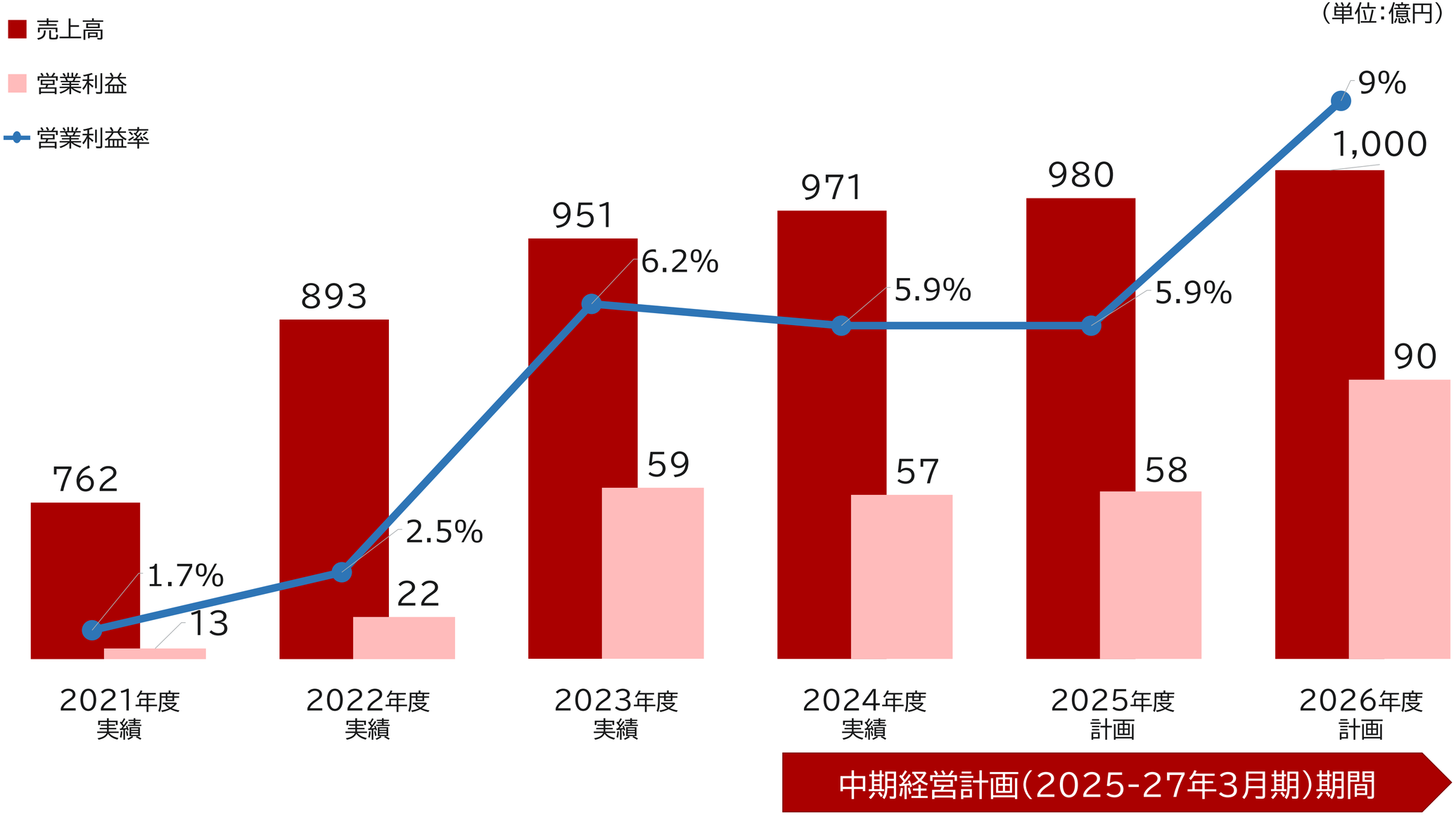
ROE

2024年度期初計画	2024年度実績
4.0%	▶ 6.9%

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3　売上高・営業利益・営業利益率　推移

（単位：億円）



Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

4　ポートフォリオ別売上高①（国内）前年度比

国内計測制御事業

スマートメーター事業	**減収▼** ・ 現行スマートメーターは、第2世代スマートメーター導入に向けたゆるやかな需要減少により減収 ・ スマートメーター以外の電力会社向け製品・サービスは堅調。事業全体では対前年微減
ソリューション事業	**増収▲** ・ スマートロックやGXは競争激化、顧客の在庫調整、一部製品・サービスの上市遅れなどで対前年を下回る ・ 一方、電力会社以外向けに販売する直流計器で新規顧客を獲得するなどメーター販売が堅調で、事業全体では対前年増収
配電盤事業	**増収▲** ・ 電力会社向け、産業向けともに堅調。特に、産業向けはデータセンター向けが企業の設備投資堅調に伴い順調に推移し対前年増収

（単位：百万円）

	2023年度実績	2024年度実績	前年度増減	
国内計測制御事業	55,244	**56,061**	817	+1.5%
スマートメーター事業	34,966	**34,892**	△73	△0.2%
ソリューション事業	12,104	**12,934**	830	+6.9%
配電盤事業	8,173	**8,234**	60	+0.7%

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

4　ポートフォリオ別売上高②（海外）前年度比

海外計測制御事業

オセアニア	**増収▲** ・ スマートメータの新規・更新需要の増による出荷増で対前年増収
欧州	**減収▼** ・ 24年度第1・第2四半期に発生した顧客の在庫調整の影響が残り対前年減収
アジア	**減収▼** ・ メーター単体売りなどの低収益ビジネスからの撤退を加速させたこと等により対前年減収
中東・アフリカ	**減収▼** ・ 与信リスク等を考慮した選択受注を継続したこと等により対前年減収

（単位：百万円）

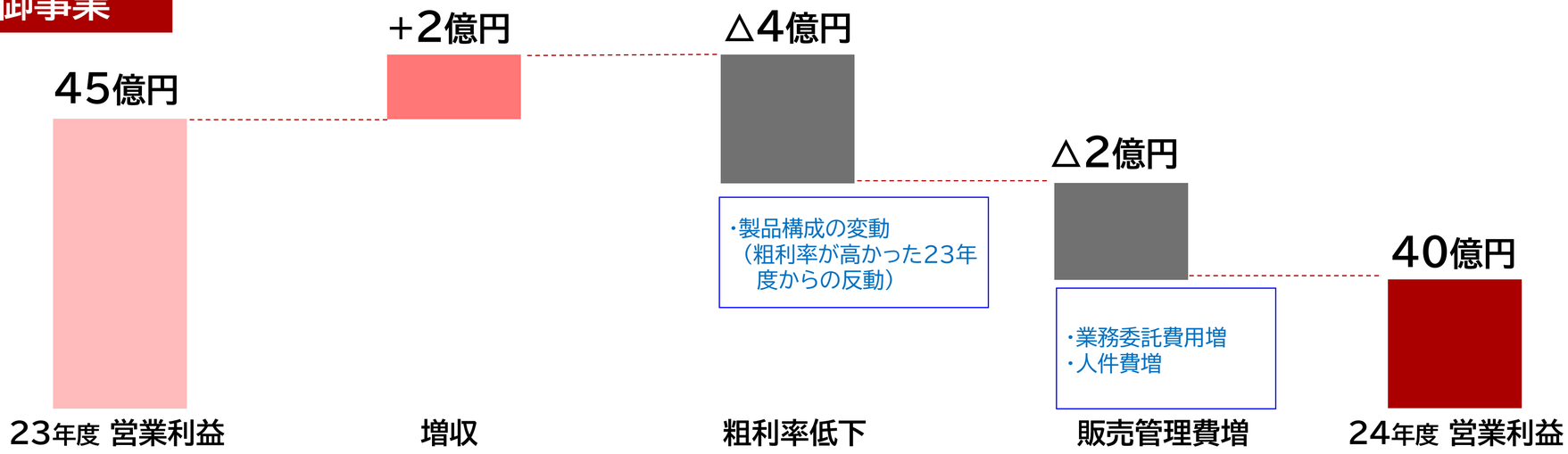
	2023年度実績	2024年度実績	前年度増減	
海外計測制御事業	39,436	**40,584**	1,148	+2.9%
オセアニア	16,966	**21,147**	4,181	+24.6%
欧州	15,783	**13,451**	△2,332	△14.8%
アジア	5,049	**4,693**	△355	△7.0%
中東・アフリカ	1,637	**1,292**	△345	△21.1%

期中平均為替レート（円/USD）	140.67	**151.69**	

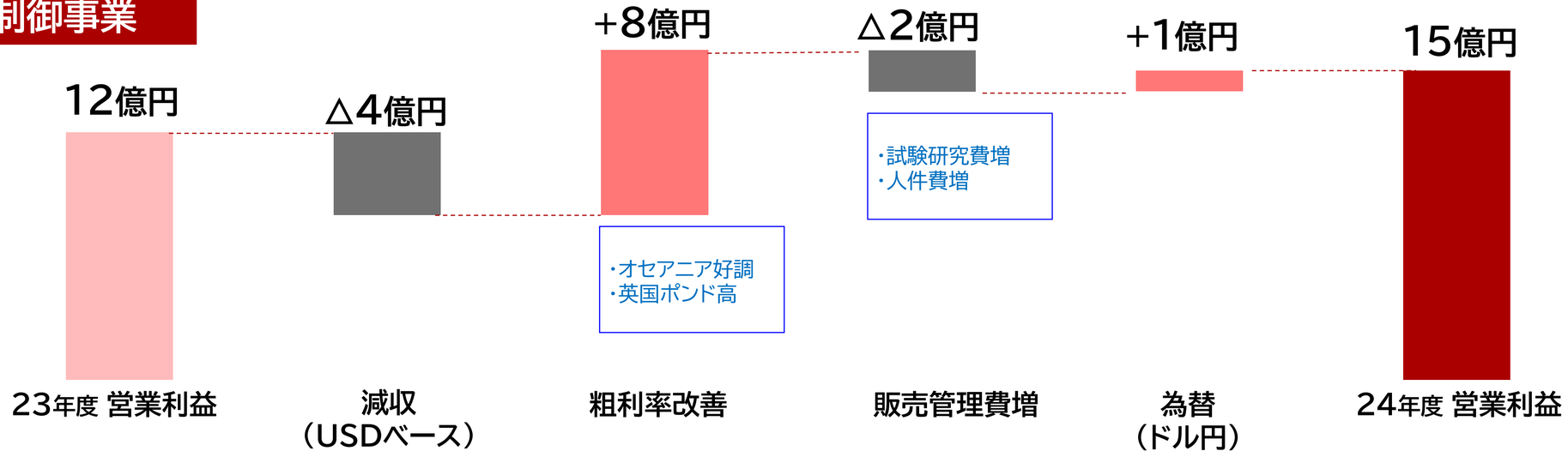
Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

5　営業利益増減分析

国内計測制御事業



海外計測制御事業



Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

6　特別利益・特別損失の計上

特別利益

・ 経営資源の有効活用と資産効率の向上を図るため、不動産および政策保有株式を売却したことにより売却益を計上

特別損失

・ 海外において事業の最適化を進めるため組織構造改革を進めたことにより退職金等の費用を計上

（単位：百万円）

	2024年度実績	内容
特別利益	1,367	
投資有価証券売却益	430	政策保有株式の売却
固定資産売却益	936	不動産の一部売却
特別損失	△364	
事業構造改善費用	△278	海外での組織構造改革
固定資産除却損	△86	
合計	1,002	

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

7 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

貸借対照表

- 海外での売掛金回収により、売掛債権減少
- 海外での今後の出荷への備えにより、棚卸資産増加
- 海外の資金需要により借入金増加
- ネットキャッシュ　71億円　自己資本比率51.9%

（単位：百万円）

	2023年度 期末	2024年度 期末	前年度増減	主な増減理由
資産 合計	95, 641	100, 513	4,872	現金 +4,417 売掛債権 △1,280 棚卸資産 +2,579 有形固定資産 +1,505
流動資産	55,464	59,547	4,082	
固定資産	40,177	40,966	789	
負債 合計	33,108	37,170	4,061	仕入債務 +294 借入金 +2,228
流動負債	22,197	29,240	7,042	
固定負債	10,910	7,930	△2,980	
純資産 合計	62,532	63,343	810	
自己資本	49,609	52,151	2,542	
非支配株主持分	12,456	10,724	△1,731	
その他	466	466	―	
自己資本比率	51.9%	51.9%	0.0%	

キャッシュフロー計算書

- 当期純利益の増、売上債権の減少で営業キャッシュフロー68億円
- フリーキャッシュフローは56億円

（単位：百万円）

	2023年度 期末	2024年度 期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,187	6,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,895	△1,229
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,990	△3,028
フリーキャッシュフロー	1,291	5,659

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3 2025年度　業績見通し

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

1 2025年度 業績見通し① 総括・前年度比 増収増益

【売上高】 国内 第2世代スマートメーター導入が徐々に始まることにより増収

海外 オセアニア向けの出荷が前年度並みに推移すること、英国の政府主導のスマートメータープロジェクトの継続により出荷増となることから米ドルベースでは増収となるも、前提為替レートを円高に見込むことから減収

【営業利益】 国内 減価償却費の増加や販売管理費の増加により減益

海外 売上の増加や、販売管理費の減少により増益

（単位：百万円）

	2024年度 上期実績	2025年度 上期計画	前年度増減		2024年度 通期実績	2025年度 通期計画	前年度増減	
売上高	44,451	**45,500**	1,048	+2.4%	97,102	**98,000**	897	+0.9%
営業利益	1,730	**1,200**	△530	△30.7%	5,701	**5,800**	98	+1.7%
経常利益	1,568	**1,100**	△468	△29.9%	5,386	**5,700**	313	+5.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	571	**100**	△471	△82.5%	3,504	**3,600**	95	+2.7%

ROE

2024年度実績	2025年度計画
6.9%	▶ 7.0%

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

1 2025年度 業績見通し② セグメント別・前年度比

国内 【売上高】
- ソリューション事業および配電盤事業は前年度並みとなる見通し
- スマートメーター事業は第2世代スマートメーター導入が年度の後半から徐々に開始することにより増収

【営業利益】
- 第2世代スマートメーター販売開始に向けた減価償却費の増加や人的経費を中心とする販売管理費の増加等により減益

増収減益

海外 【売上高】
- オセアニア向けの出荷は前年度並みに推移
- 英国は政府主導のスマートメータープロジェクトの継続により増収
- 米ドルベースでは増収の一方、前提為替レートを円高に見込むことにより減収

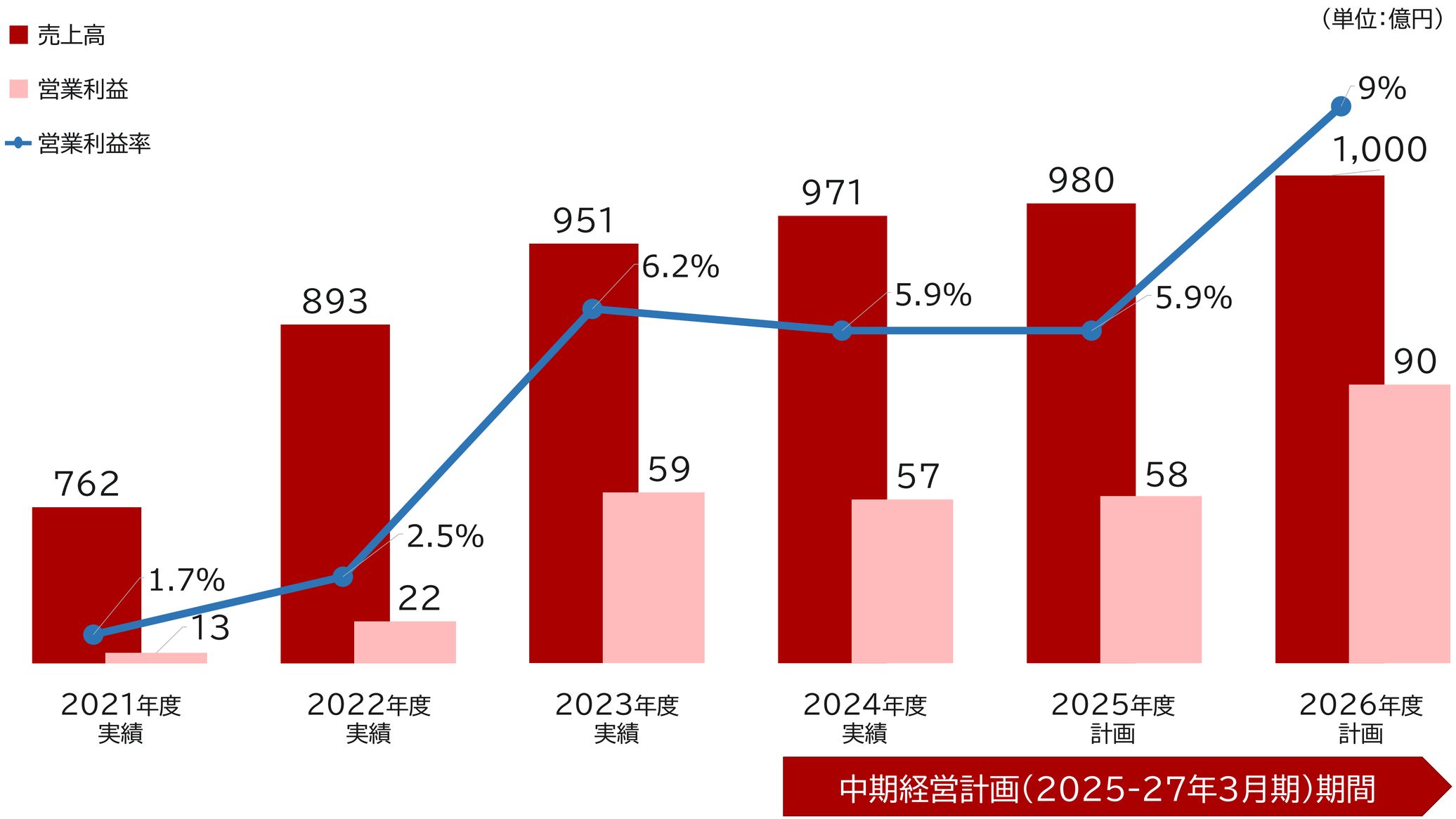
【営業利益】
- 売上の増加、組織構造改革進展による販売管理費の減少により増益

減収増益

（単位：百万円）	2024年度 上期実績	2025年度 上期計画	前年同期 差/比		2024年度 通期実績	2025年度 通期計画	前年同期 差/比	
売上高	44,451	45,500	1,048	+2.4%	97,102	98,000	897	+0.9%
国内計測制御事業	25,379	27,800	2,420	+9.5%	56,061	57,700	1,638	+2.9%
海外計測制御事業	18,847	17,500	△1,347	△7.1%	40,584	40,000	△584	△1.4%
不動産事業	224	200	△24	△11.0%	456	300	△156	△34.2%
営業利益	1,730	1,200	△530	△30.7%	5,701	5,800	98	+1.7%
国内計測制御事業	1,265	750	△515	△40.7%	3,965	3,500	△465	△11.7%
海外計測制御事業	331	350	18	+5.7%	1,477	2,200	722	+48.9%
不動産事業	136	100	△36	△26.5%	270	100	△170	△63.0%
調整額	△2	-	2	-	△12	-	12	-

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

2　売上高・営業利益・営業利益率　推移(再掲)



Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3　ポートフォリオ別売上高①（国内）前年度比

国内計測制御事業

スマートメーター事業	増収▲	・現行スマートメーターは生産終了のため売上減 ・第2世代スマートメーターの販売開始により増収 （第2世代スマートメーター：25年度上期中に生産開始、下期より販売開始）
ソリューション事業	増収▲	・電力会社以外向けメーターは堅調を維持し、24年度並み ・GXサービスは、新規顧客獲得を進めることで、売上を拡大 ・スマートロックは、新製品上市により増収 ・子会社の一部製品において24年度売上の反動減により24年度並み
配電盤事業	減収▼	・電力会社向け産業向けともに堅調により、24年度並み

（単位：百万円）

	2024年度実績	2025年度計画	前年度増減	
国内計測制御事業	56,061	57,700	1,638	+2.9%
スマートメーター事業	34,892	36,700	1,807	+5.2%
ソリューション事業	12,934	13,000	65	+0.5%
配電盤事業	8,234	8,000	△234	△2.8%

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3　ポートフォリオ別売上高②（海外）前年度比

海外計測制御事業

オセアニア	減収▼ ・出荷は前年度並みとなる見通し ・前提為替レート(ドル円)を円高に見込むことにより、円ベースでの売上高は減収
欧州	減収▼ ・政府「スマートメータープロジェクト」の継続により増収 ・前提為替レート(ドル円)を円高に見込むことにより、円ベースの売上高は減収
アジア	減収▼ ・メーター単体の販売縮小により減収 ・次世代産業用メーターへの切替を控えた需要減により減収(次世代産業用メーターは26年度後半から導入)
中東・アフリカ	増収▲ ・ 顧客との既存契約分の販売を着実に実行することにより増収

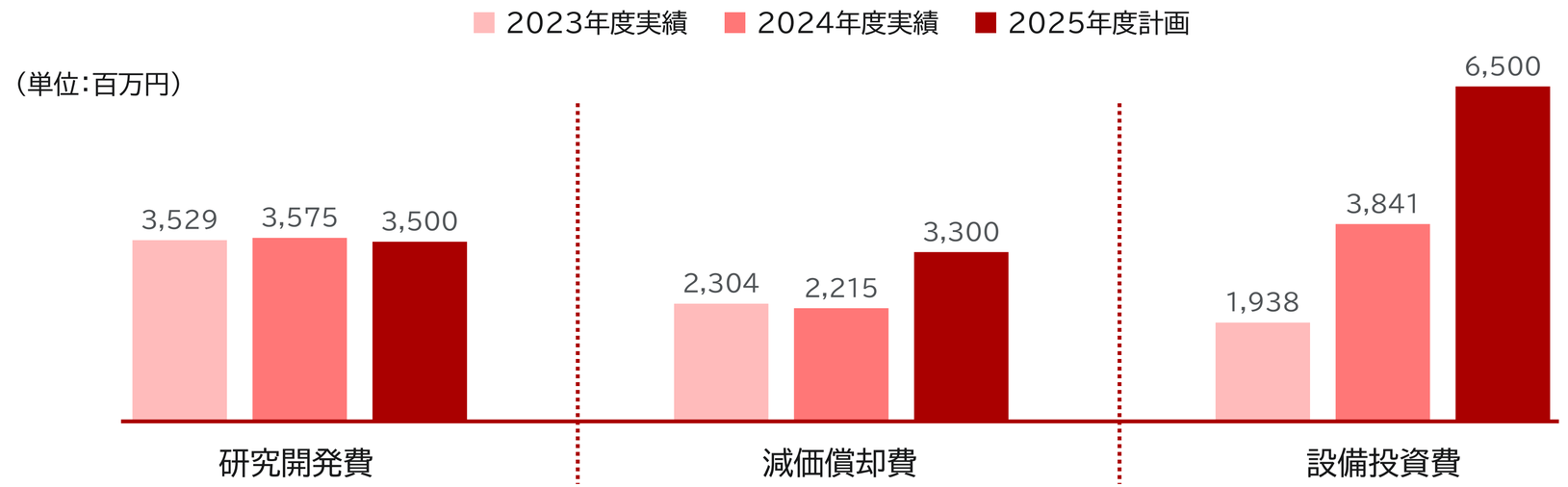
（単位：百万円）

	2024年度実績	2025年度計画	前年度増減	
海外計測制御事業	40,584	40,000	△584	△1.4%
オセアニア	21,147	19,500	△1,647	△7.8%
欧州	13,451	13,000	△451	△3.4%
アジア	4,693	4,000	△693	△14.8%
中東・アフリカ	1,292	3,500	2,207	+170.8%

期中平均為替レート(円/USD)	151.69	140.00	

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

4　研究開発費・減価償却費・設備投資額



（単位：百万円）

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画	前年度 差/比	
研究開発費	3,529	3,575	**3,500**	△75	△2.1%
減価償却費	2,304	2,215	**3,300**	1,084	+48.9%
設備投資費	1,938	3,841	**6,500**	2,658	+69.2%

＜25年度計画＞

【研究開発費】
- 国内外のスマートメーター、国内ソリューションへの研究開発を継続実施

【減価償却費】
- 第2世代スマートメーターの本格的な物量増に先行して減価償却費が増加

【設備投資費】
- 第2世代スマートメーターの設備投資が継続

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

5　想定される主な外部環境とリスク/機会の対応策（2025年5月時点）

想定される主な外部環境	想定する主なリスク/機会	主な対応策
地政学リスクの高まり	【リスク】地域間紛争・政情悪化等による需要減退・債権回収リスク増大 【リスク】サプライチェーンの混乱・分断	・リスク情報の素早い把握、案件の選択（選択受注） ・調達先の新規開拓・発注移転（分散化）
米国の追加関税措置	● 当社グループは対米輸出を行っておらず、直接的な影響は軽微 【リスク】米国による追加関税措置の対象国のうち、高関税率の国・地域では国内経済への負の影響が懸念。当社の部材調達先の国が対象となった場合、必要な部材をタイムリーに調達できない等、当社サプライチェーンへの影響が懸念される	
為替の急激な変動	【リスク】自国通貨安（円安など）の進行 → 輸入部材の調達価格上昇 【リスク】自国通貨高（円高など）の進行 → 海外子会社業績の円貨ベースでの悪化	・為替変動の影響を軽減するために先物為替予約を実施 ・輸入部材価格上昇を想定した設計変更・使用材料見直しによる影響軽減
インフレ進展による原材料高	【リスク】銅や樹脂などの原材料価格の高騰	・設計変更・使用材料見直しによる影響軽減
景況悪化・原油高等による電力会社の業績変動	【リスク】スマートメーター等への投資抑制	・顧客との良好なコミュニケーションによる情報の早期把握と対策立案 ・ソリューション事業の拡大

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

5　想定される主な外部環境とリスク/機会の対応策（2025年5月時点）

想定される主な外部環境	想定する主なリスク/機会	主な対応策
温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み・規制の強化	【機会】脱炭素・省エネニーズの増大による受注拡大 【リスク】再エネ・省エネ政策強化による買電コスト・自社発電コスト（例：太陽光）の増	・メーター（直流計器）、GX関連製品・サービス等の売上拡大 ・コスト増を吸収・緩和できる利益確保策の実施 ・自社GX製品の活用（エネルギーコストの最適化）
国内の生産人口減少	【機会】 省人化ニーズの増大 【リスク】人的経費（正社員人件費や外部リソース費用）の増加	・スマートメーター、自動検針サービス、スマートロック等の普及拡大を通じ自動化・省人化に貢献 → 売上拡大 ・人的経費増分の価格転嫁、さらなる原価低減活動、人的経費以外の販管費の削減 等
世界的な電化率の向上	【機会】 スマートメータの需要拡大 送配電施設・設備の新設・更新の増加	・スマートメーターや送配電関連機器の売上拡大 ・電力使用量管理の高度化に伴う、上位系システムとスマートメーターのセット販売需要の拡大 →売上拡大

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

4 株主還元

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

株主還元

配当

配当方針のもと安定配当を実施し、利益向上による継続的な増配を目指す

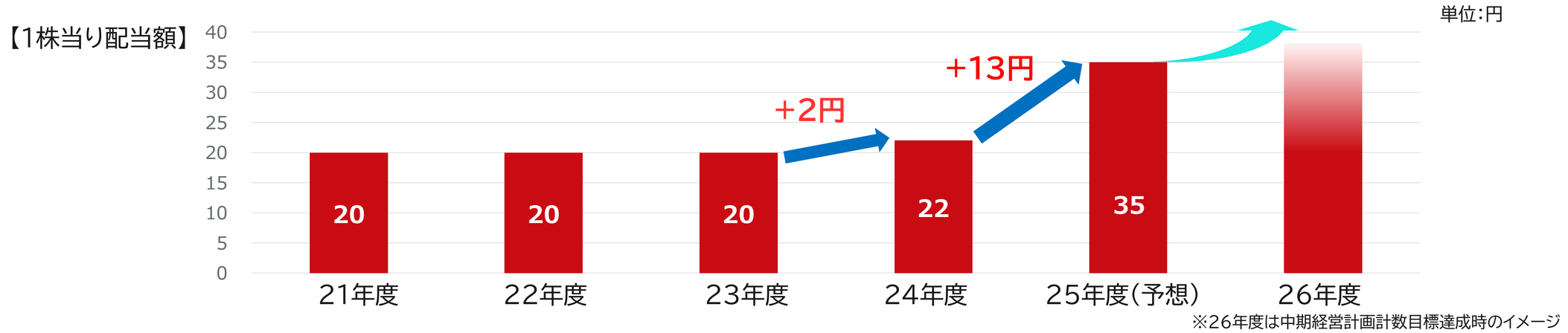
- **24年度の配当は年間22円**（23年度比＋2円増配）
- **25年5月に25年度以降の配当方針を変更（DOE基準を引き上げ）**

【変更前】
DOE 2%と配当性向30%のいずれか高い額を目安に決定

【変更後】
DOE 3%と配当性向30%のいずれか高い額を目安に決定

▶ 配当方針の変更により、**25年度の1株あたり配当予想は年間35円**（24年度比＋13円増配）

- **26年度以降も、増益によるさらなる増配を目指す（配当性向基準の適用）**



※26年度は中期経営計画計数目標達成時のイメージ

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

（ご参考） 当社をより詳しくご理解いただくために

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

大崎電気グループの企業理念・ビジョン

企業理念
（パーパス）

見えないものを見える化し、
社会に新たな価値を生み出す

ビジョン

Global Energy Solution Leader

価値観

挑戦	迅速
革新	社会貢献

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3C視点での事業概要
（お客様、自社、競合他社）

国内電力量計（スマートメーター）①

● 当社では、「電力会社向け」と「その他業種向け」の電力量計（スマートメーター）を製造・販売

売上比率 電力会社向け 約85% その他業種向け 約15%

（敬称略）

■ 電力会社向け電力量計（スマートメーター）（日本国内）

スマートメーター事業

機械式電力量計



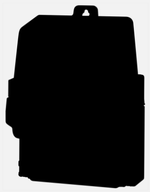
・中央の円盤が回転し電力使用量を計測
・通信機能なく、検針員が各戸訪問して目視確認

現行型スマートメーター 2014年～



・通信機能を持ち、電力会社が遠隔で電力使用量を把握可能
・機械式に比べ軽量化を実現

第2世代スマートメーター 2025年～



・高粒度の計測による速やかな停電検知
・再エネ大量導入における電力安定供給へ貢献

Point! 電力量計（スマートメーター）の使用期間は**10年**（一部機種7年）
計量法で規定

お客様 電力会社および電力関連会社
（電力会社がメーカーから購入し家庭に設置＝電力会社の資産）

競合他社
・三菱電機
・富士電機
・東光高岳
（各社シェア非開示）

当社の優位性
・製品ラインナップ
・生産能力/デリバリー力
・営業・サービス体制
（グループ会社を含めた協力体制）

生産拠点
・埼玉
・大阪

商流

売上比率

OSAKI → 電力会社 約80%

OSAKI → 部品供給 → 電力関連会社（電力量計組立） → 電力会社 約20%

■ その他電力量計（スマートメーター）（日本国内）

ソリューション事業

主なお客様（エンドユーザー）
・オフィスビル
・商業施設
・物流倉庫
・駅ビル
など

用途
・テナント・住戸ごとの電力使用量の把握
→ 電気料金の配分に使用
・電力使用量の検針・課金業務

商流

OSAKI → 電設資材商社 → 盤メーカー / ゼネコン サブコン → オフィスビル / 商業施設 / 物流倉庫

競合他社
・三菱電機
・富士電機
・東光高岳

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3C視点での事業概要
（お客様、自社、競合他社）

国内電力量計（スマートメーター）②

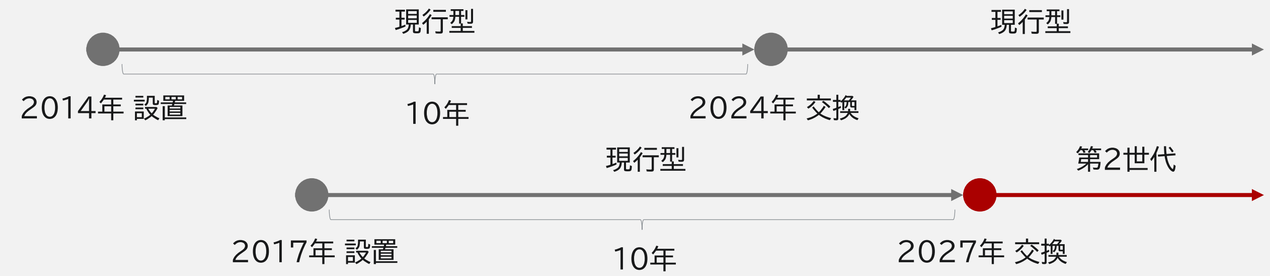
OSAKI

■ 電力会社向け電力量計（スマートメーター）（日本国内）の販売数量の推移（イメージ）　スマートメーター事業

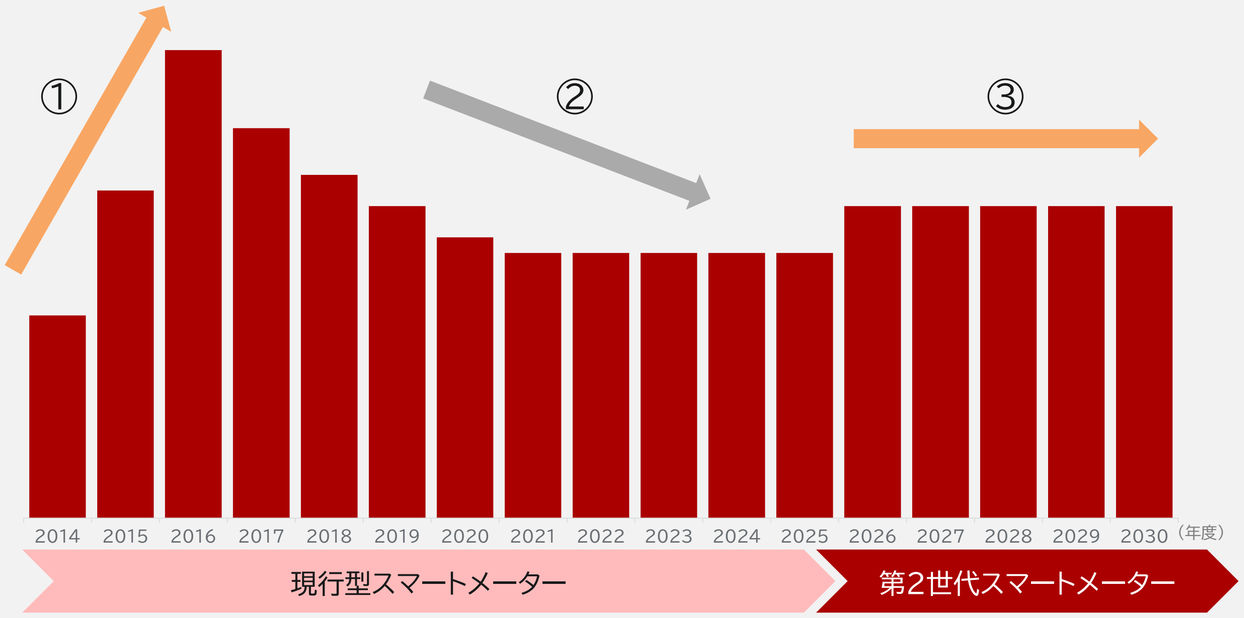
電力量計（スマートメーター）交換サイクル

- 家庭用電力量計（スマートメーター）の有効期間は10年（計量法）
- 第2世代販売開始まで現行型⇒現行型への置換えも発生
  （例：2014年設置機は2024年に現行型に置換え）

● 交換サイクルイメージ



販売数量推移（グラフの高さはイメージ）



2014～2017年度　（現行型スマートメーター導入）　①

- 電力小売り自由化などへの対応のため、スマートメーター設置前倒し

⇒ 2015～2018年にかけてスマートメーターの設置が一気に拡大
当社の生産高も2016年度に過去最高を更新

2020～2024年度　②

- スマートメーターの設置台数を平準化
- 初期導入スマートメーターの置換え需要（現行型⇒現行型）

2025年度～　（第2世代スマートメーター導入）③

- 2025年度から第2世代スマートメーター本格導入

※　本グラフは過去のスマートメーターの物量推移と今後の物量想定を示したイメージであり、個々の電力会社の設備投資計画を示すものではありません。

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3C視点での事業概要
（お客様、自社、競合他社）

ソリューションビジネス（一部）・配電盤

■ スマートロック　ソリューション事業

製品特徴



OPELO（商品名）

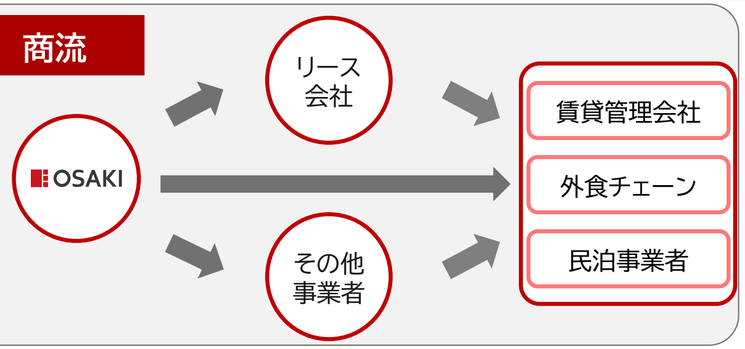
- ICカード、スマートフォンなどに鍵機能を付与
- 直接パスワードでの解錠も可能
- 通信ネットワーク不要
  → ハッキングリスクや通信不良による解錠ミスなし
  → ワンタイムパスワード発行も可能
- 既存ドアシリンダーと一体構造
  → 堅牢、セキュリティ強化

主なお客様

- 大手賃貸物件管理会社
- 大手外食チェーン
- 民泊事業者

など

商流



競合他社

- スマートロック事業者
- 大手鍵メーカー

■ GXサービス　ソリューション事業

製品特徴



エネルギーマネジメントサービス

- 設備ごとの電力使用量を見える化し、最適な省エネ・省コストを実現するサービス
- 自動制御による管理で、現場の負担を軽減
- 他社にはないきめ細やかなアフターサービスが特長

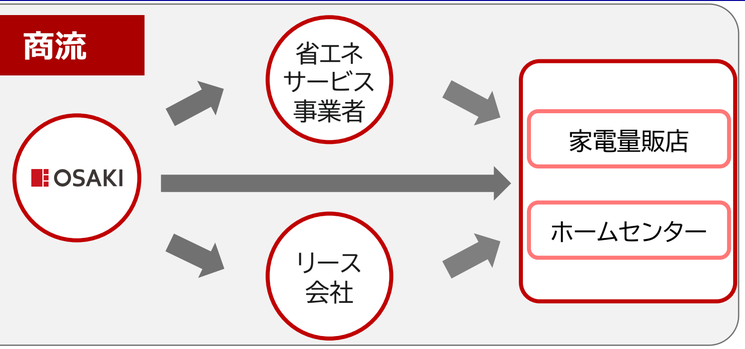
主なお客様

大手小売業が中心

- 家電量販店
- ホームセンター

など

商流



競合他社

- 小売業向けEMSプロバイダー

■ 配電盤　配電盤事業

製品特徴



配電盤・分電盤　等

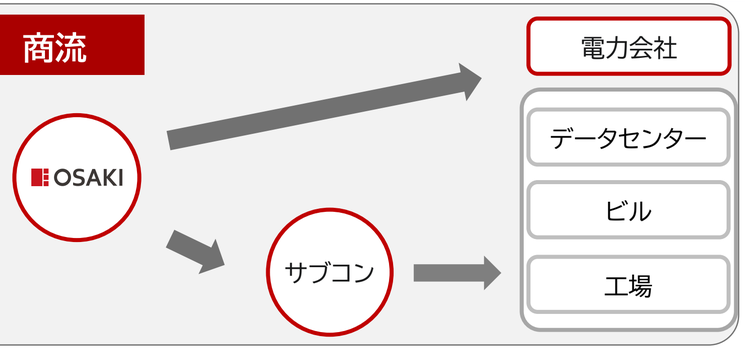
- 電力会社向けと産業向けで構成
- 産業向けはデータセンター（DC）需要が拡大
- DC向けには、電源切替盤、PDU・PDP盤も供給

主なお客様

- 電力会社
- 電気工事会社経由
  → データセンター
  → ビル
  → 工場

など

商流



競合他社

- 配電盤メーカー
  （特に中小規模の盤メーカー）

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

3C視点での事業概要（お客様、自社、競合他社）

海外電力量計（スマートメーター）

製品

- 海外計測事業は、グループ会社であるEDMI Limited（以下EDMI）により運営
- スマートメーター（電力・ガス・水道）、上位系システム（ヘッドエンドシステム）を用いたソリューションビジネスを展開
- オセアニアが主力マーケットで、欧州、アジア中心に事業展開

家庭用スマートメーター

現行スマートメーター 2005年～



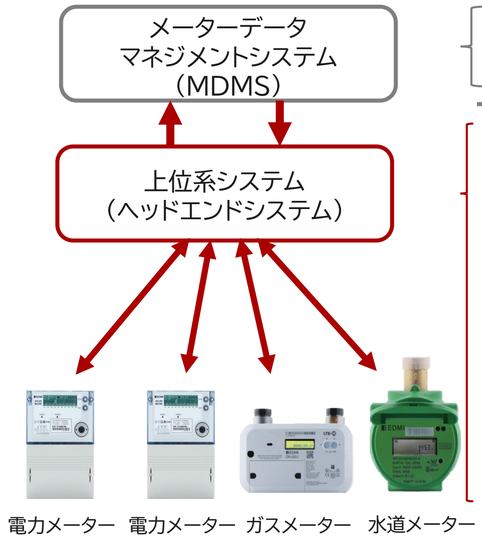
- 機能は基本的に日本と同じ
- 国ごとに要求が異なるモデルをラインナップ
  → 盗電防止、プリペイドタイプなど
- 少量多品種で展開

次世代スマートメーター（Neosシリーズ） 2025年7月～



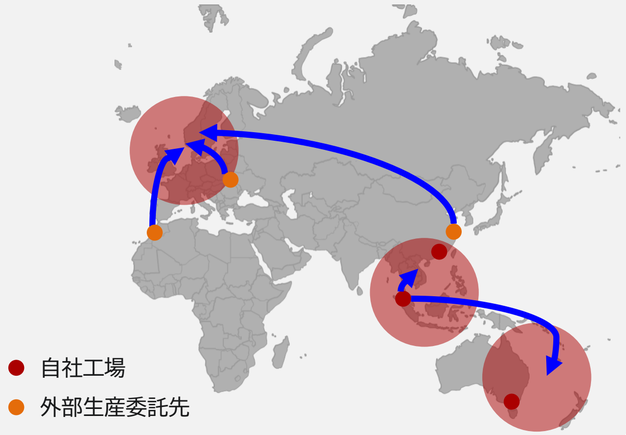
- 単一設計プラットフォームに統一
  → 上位系システムへの対応が容易
  → 製品コスト低減
- 通信部分の後付けが可能
  → 通信方式選択の自由度拡大

上位系システム



- 電力会社が持つデータマネジメントシステム
- スマートメーターとMDMSをつなぐシステム
- 各スマートメーターのデータを集約、顧客の要求するフォーマットでデータ処理し、暗号化してMDMSへ伝送する機能
- 電力会社（MDMS）の指示を各スマートメーターに伝送する機能

海外拠点



主なお客様

- 電力会社
- 送配電事業者
- ガス事業者

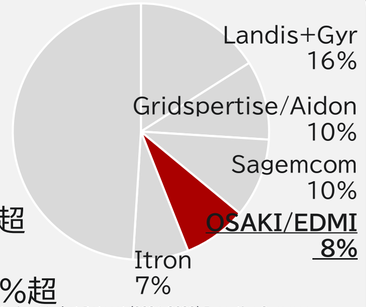
など

商流

EDMI → 電力会社 / 送配電事業者 / ガス事業者

競合他社

- 世界台数シェア第4位（大崎・EDMI合計）
- 特にオセアニアでは高いシェア獲得
  → オーストラリア 70%超（東部5州）
  ニュージーランド 70%超



*Data source: 2024 Northeast Group, LLC - Global Electricity Metering Market Dataset (2024-2033) Executive Summary
GLOBAL AMI MARKET SHARE –METER COMMUNICATIONS (Annual, 2023)

トピックス

- 構造改革の推進
  → 4地域から2地域制管理へ統合
  → スマートメーターと組み合わせたソリューション事業の強化
- 産業用電力メーター再強化
  → 工場などの産業用の電力メーターの再強化を図る
  → アジアを中心に事業展開

Copyright (C) 2024 OSAKI ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved

大崎電気工業株式会社
東証プライム：6644

■本資料は監査を受けていない参考数値を含んでいます。

■本資料に記載の将来の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

■本資料の複製、内容の転載はご遠慮ください。